

地しんについて知ろう



くずれたたてもの

地しんのゆれはどのようにつたわるのでしょうか。また、地しんのゆれ方には、どんなちがいがあのでしょうか。地しんについてしらべてみましょう。

地しんのかちからが大き、しんげんとわたしたちのすんでいる場所が近いきや地面がやわらかいときほど、この作文のように強いゆれをかんじることがあります。

おばあちゃんがゆれたときの話をしてくれた。おばあちゃんのおなかの上にテレビがおちてきたそう。おばあちゃんが苦しんでいると、おじいちゃんがテレビを持ち上げてくれた。おじいちゃんのうちにペしゃんこになった。一かいがぶれてドアが開かなかったから、ガラスをトンカチでわって出た。」と話してくれた。
(神戸市の小学生の作文から)

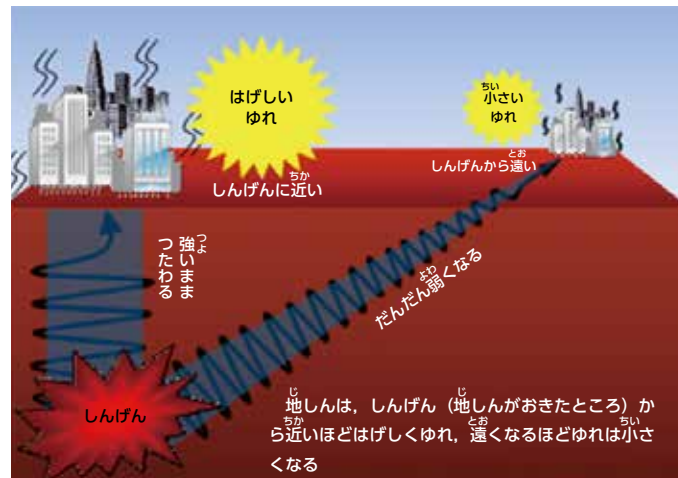
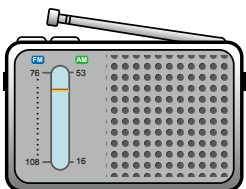
1 地しんを知ろう

地しんは、地面の下のふかいところでおきます。そのときのゆれが地面につたわって、わたしたちのかんじる「地しん」になります。地しんがおきた場所のことを「しんげん」といいます。しんげんが近いと、はげしいゆれになり、遠いとゆれは小さくなります。また、地面がやわらかいところほど大きなゆれになります。

2 地しんのゆれ方

地しんには、体にかんじないほどの小さなゆれの地しんから、じょうぶなたてものをこわしてしまうほどの大きなゆれの地しんがあります。地しんのゆれの強さを数字であらわしたものを「しんど」といいます。しんどは0から7まであり、7がさい大です。

ただいまの地しんのしんげんは...



しんげんのゆれのつたわり方



「しんど」とゆれ方 (気象庁HP)